

日本鹿研究投稿規定

2009年7月1日施行

2013年5月1日改定

2022年7月24日改定

2026年8月7日改定

- (1) 本誌は日本および世界の鹿の生態、飼養技術、資源活用、獣害対策、経済、社会、文化等に関する論文、研究ノート、調査研究、報告（調査、技術、現地、活動など）、総説、解説、エッセイおよび書評などを掲載する。投稿者が該当する種類を執筆者連絡票に明記すること。
- (2) 論文および研究ノート、調査研究については編集委員会により審査を行う。その他の原稿の取り扱いについては、編集委員会に一任のこと。
- (3) 原稿の言語は、日本語と英語とする。原稿には、表題、著者名および所属機関名（所在地）、次いで英文の表題、著者名、所属機関名（所在地）をつける。また論文、調査研究には英文要約をつけ、それぞれ和文、英文のキーワード（5ワード以内）を書く。その他については、この限りではない。
- (4) 原稿用紙はすべて A4 版とし、上下 20 mm、左右 22 mmの余白を空け、和文の場合は横書きで1段組 40字 ×30 行、英文の場合は 80字×25 行を標準とする。
- (5) 原稿の長さは、原則として論文・ノートでは刷上り 15頁以内、その他では 10頁以内とする。
- (6) 和文原稿はひらがな、新かな遣い、常用漢字を用いる。なお、エッセイなどは、この限りではない。
- (7) 本文の見出しは、章：I. □□□□□□、節：1. □□□□□□、項：(1) □□□□□□、小項：1) □ □□□□□の順とする。なお、章が変わるときは 1 行空けて見出しを書く。
- (8) 本文を改行するときは、和文の場合 1 字空け、英文の場合は 3 字空けて書く。
- (9) 句読点などは、「。・；：」「（ ）ー」を用い、行末にはみ出す句読点および括弧は行末に書く。
- (10) 年号は、元号の後に可能な限り西暦を付記する。例：明治 43（1910）年
- (12) 図表および写真は本文中に挿入し、別途、別ファイルにもまとめて提出する。
- (13) 引用文献は、本文中での引用順に片括弧付きの番号を付して記載する。
例：1) 環境省, 狩猟及び許可捕獲等による主な鳥獣の捕獲数（2024）
<https://www.env.go.jp/nature/choju/docs/docs4/sokuhou.pdf> (最終閲覧2025年1月6日)
2) 杉浦 佳奈、十代田 朗、英・米・日におけるグランピングの特徴と類型に関する研究、
観光研究 2022.12(34) (2022)
- (14) 引用文献リストは、本文の後に番号順にまとめて記載する。
- (15) Word等のソフト内の機能にて「脚注の挿入」「引用文献の挿入」等の機能を使用しないこと。
- (16) 初校は、著者が行うことを原則とする。
- (17) 別刷代は著者負担とする。
- (18) 原稿は（一社）全日本鹿協会事務局 japandeersociety@gmail.com にファイル添付で送付すること。